

料紙と書

東アジア 書道史の世界

島谷弘幸編

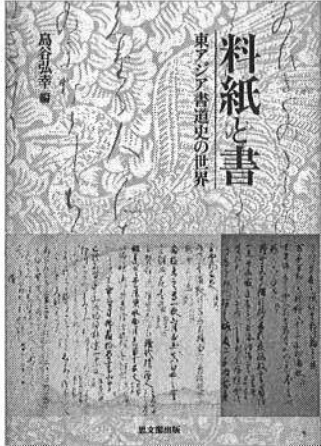
(東京国立博物館副館長)

▼A5判・三五二頁／定価：本体 五、八〇〇円(税別)

ISBN978-4-7842-1748-9

【二〇一四年四月刊行】

日本の書においては古筆や写経を中心に、中国の書や韓国の書においては装飾料紙を用いたものを中心とし、各国における書の時代変遷とともに中国や韓国からの影響といった点もふまえた書風の分析を行う。さらに、料紙装飾に関する科学的調査と、書の内容に関して文学的・歴史的に調査を行い、個別の作品を人文・自然諸科学の方法によって総合的に分析。図版篇では貴重な装飾料紙の文様を豊富な写真図版で紹介。東アジアの書道史における料紙と書風に関する総合的研究。



○ 内容目次 ○

図版篇

《船載の唐紙》

粘葉本和漢朗詠集／古今和歌集序(卷子本)／寸松庵色紙(模本)和漢朗詠集卷下(益田本)／倭漢抄下卷(近衛本和漢朗詠集)京極関白集切(藤原師実家集断簡)／古今和歌集断簡(本阿弥切)《日本製の唐紙》

古今和歌集(元永本)／金沢本万葉集 東京国立博物館蔵 古筆切より

《船載の唐紙》

唐紙経切／古今和歌集断簡(本阿弥切) 古今和歌集断簡(卷子本)／麗花集断簡(八幡切) 古今和歌集断簡(民部切)／古今和歌集断簡(荒木切) 《羅紋紙》 高光集切／古今和歌集断簡(筋切)

《筋切の紙背》

古今和歌集断簡(通切)

《日本製の唐紙》

大色紙／三宝絵詞断簡(東大寺切)／高光集切 宝治二年院歌合断簡(鶉切)／和泉式部続集切 本願寺本三十六人家集(模本) 本願寺本三十六人家集の料紙文様

データ篇

粘葉本和漢朗詠集 料紙装飾一覧

古今和歌集序(卷子本) 料紙装飾一覧 和漢朗詠集卷下(益田本) 料紙装飾一覧 古今和歌集(元永本) 料紙装飾一覧

論文篇

古筆における伝統と創造——世尊寺家を一例として

料紙について——古写経を中心に

赤尾栄慶(京都国立博物館学芸部)

「粘葉本和漢朗詠集」と「金沢本万葉集」にみる 料紙の装飾と文様——雲母摺り文様の和様化の一過程の考察を含めて

太田彩(宮内庁三の丸尚蔵館学芸室) 中国書法史における装飾加工紙について


富田淳(東京国立博物館学芸研究部) 日本の料紙装飾の技法における受容と発展について

高橋裕次(東京国立博物館学芸企画部) 料紙を中心とした「平家納経」鑑賞の記録

下絵装飾と書 島谷弘幸 惠美千鶴子(東京国立博物館学芸研究部)

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	料紙と書		本体5,800円(税別)	ISBN978-4-7842-1748-9
お名前		tel			
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代 引(書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)				
				本書HPのQRコード	書店番線印

近代日本における書への眼差し

高橋利郎著

日本書道史形成の軌跡

毛筆で書かれた肉筆の文字資料が、近代に「書」として位置付けられていく過程を、書道史に関する出版をはじめ、宝物調査や展覧会の列品、また文化財関連の法令から探り、近代における書道史形成の軌跡をたどる。また、近代数寄者が私的に書跡を鑑賞する場について考察し、その書跡へのまなざしの影響の大きさを論じる。

▶A5判・304頁／本体4,800円(税別) ISBN978-4-7842-1595-9

平成新修古筆資料集 [全5集]

田中登編

古筆切は国文学の研究上、重要な資料であり、また優れた美術品でもある。それらは古筆を愛する人々や必要とする人々の共有財産となるべきとの観点から、編者蒐集の所蔵品の中から各約120点を解説と図版で分かりやすく紹介する。

▶A5判・平均260頁／各本体2,500円(税別) ※第1集は品切

大阪青山短期大学所蔵品図録

古典籍の収集で知られる大阪青山短期大学(現、大阪青山大学)所蔵の貴重史料の紙上演覧。宸翰・古文書・古筆切・写経・仏典・絵巻など274点を収録。カラー図版108点。【収録】明月記(藤原定家)／拾遺和歌集／陸放翁詩集／光厳天皇書状／新田義貞訴願状／瑜伽師地論／悉曇略記 ほか

▶A4判変・350頁／本体7,767円(税別) ISBN4-7842-0744-9

平安時代書道史

春名好重著

飛鳥時代、律令政治を背景に隆盛したわが国の書は、平安時代に入るとますます盛んになり、文化の発達とともに発展を遂げ、頂点に達した。本書は、わが国の書の歴史の上で最も重要な平安時代の書の推移と特色を明らかにするものである。カラー図版4点、モノクロ挿入図版29点を収録。

▶A5判・300頁／本体3,689円(税別) ISBN4-7842-0759-7

※三藐院 近衛信尹 残された手紙から

前田多美子著

本阿弥光悦・松花堂昭乗とともに「寛永の三筆」として日本書道史上にその名を謳われてきた近衛信尹。本書では信尹の生涯を彼の残した手紙から読み解き、隠れた素顔を明らかにし、さらに能書としていかに遇されてきたのか、その書とはどのようなものであったのかを改めて考えなおす。

▶A5判・270頁／本体2,300円(税別) ISBN4-7842-1299-X

宸翰英華 別篇 北朝 [図版篇1冊・解説篇1冊]

宸翰英華別篇編修会編

昭和19年刊の帝国学士院編『宸翰英華』には収録されなかった光厳天皇および光明・崇光・後光厳・後円融の北朝五代の天皇の主要な宸翰101点を収録。解説篇には13名の研究者になる詳細な釈文・解説に、系図、年譜、自署・花押一覧を付す。

▶図版篇B4判・240頁、解説篇A5判・380頁／本体48,000円(税別) ISBN978-4-7842-0728-7

書道史より見る禅林の墨蹟

中島陸象著

墨蹟の中にこそ「書の芸術性」を発見し、自らも墨蹟作家と自負する著者が、「墨蹟の見なおし」「墨蹟の新発見」に資すべく墨蹟僧ごとにその書風の源流を探り、その歴遊・歴参・参問・嗣席等を明らかにする。

▶A5判・268頁／本体2,900円(税別) ISBN4-7842-0627-2

宗達伊勢物語図色紙

羽衣国際大学日本文化研究所伊勢物語絵研究会編

近年発見された色紙も含めて59面のすべてをカラー、原寸大で掲載し、色紙に描かれた伊勢物語の世界の解釈、伊勢物語絵巻・絵本との比較対照、さらに、宗達における色紙の位置づけ、裏書の解説、色紙の特徴的な構図と技法、色紙成立の動機、色紙をめぐる人的ネットワークなどに関する新たな知見を収める。

▶B4判変・220頁／本体19,000円(税別) ISBN978-4-7842-1679-6

近衛家熙写手鑑の研究 仮名古筆篇

村上翠亭・高城竹苞共著

陽明文庫蔵・近衛家熙写手鑑(予楽院臨書手鑑・重美)所収の仮名古筆(臨模断簡)100点をとりあげ、全図を原寸大(一部縮小)で収録し、筆者名・古筆名・書誌事項・釈文等各1点ずつについて詳細な考証を加え、原本などの参考図版85点も併載。

▶A4判・280頁／本体12,000円(税別) ISBN4-7842-0968-9

古筆切研究 第一集

小林強・高城弘一共著

本書は、著者蒐集の古筆切の選りすぐり50点を紹介。1点ごとに影印・解題・釈文の他、関連資料についても言及し、詳細な解説を加える。古筆学研究者のみならず、国文学・書誌学・書学・書道史の研究者にとっても必読の書。

▶A5判・280頁／本体2,800円(税別) ISBN4-7842-1040-7

古筆切資料集成 [全6巻]

伊井春樹編

奈良・平安・鎌倉の貴重な古写本や卷子本が解体され、室町末期から江戸初期にかけて大量に出回った古筆切。本書では現物及び複製出版など、今日までに刊行されたものから、一葉ごとに忠実に翻刻し、作品別・伝称筆者順に集成。最終巻には補遺と共に詳細な索引を付す。

▶A5判・平均470頁／揃本体49,000円(税別)

※書の文化史 書状にみる人と書

波多野幸彦著

鎌倉時代の慈円・藤原定家、安土桃山時代の織田信長・古田織部・近衛信尹・伊達政宗、江戸時代初期の後陽成天皇・沢庵宗彭・千宗旦・松花堂昭乗・金森宗和などの手紙を中心に、140点余を図版掲載し、人と書の表現を考える。

▶A5判・380頁／本体3,800円(税別) ISBN4-7842-0948-4

橘為仲朝臣集

片桐洋一解説

藤原定家手沢の伝西行筆歌集の完全複製。橘為仲(?~1085)は、藤原経衡・僧能因・周防内侍などの歌人と交友関係があり、和歌六人党の一人とされた人物。本書は二本ある家集のうち的一本。特濃和紙にFMSクリーン印刷(特色多色刷)・大和綴(タテ13.6×ヨコ12.9センチ)・屋郎式桐箱(内箱)入り。

▶和装桐箱入／釈文・解題98頁／本体55,000円(税別)

※書(三)一淳化閣帖からの展開一

中島陸象編著

淳化閣帖は、宋の太宗が翰林侍書王著に命じて淳化3年に完成させた全10巻からなる名蹟集である。本書は、この淳化閣帖を対象に、原本を根底におきつつ、主観的・客観的・発展的臨書法を展開する。

▶B5判・104頁／本体2,000円(税別) ISBN4-7842-0243-9

大本山くろ谷 金戒光明寺 宝物総覧

浄土宗大本山くろ谷金戒光明寺発行

紫雲山くろ谷金戒光明寺は、浄土宗において一番古い歴史をもつ大本山であり、法然上人にとって京洛の街中に最初にひらかれた念仏道場。当山には、仏像・仏画・仏典・古文書など、多くの文化財が蔵され、公刊が望まれていた。約570点の宝物全点をFMSクリーン高精細印刷による、オールカラーの大型図版で後世に残す。

▶A4判変・516頁／本体28,000円(税別) ISBN978-4-7842-1564-5

くずし字辞典

波多野幸彦監修／東京手紙の会編集

天皇・公家・武将・僧侶・茶人・文人・商人などの実用の書である自筆消息(書状)からその筆跡(35,000字)を、また必要に応じて中国の代表的書家・文人からも1字1字拾集し、採字した各文字にはその人名を明らかにした画期的な辞典。消息(書状)の解説、鑑賞などに幅広く活用できる。

▶A5判・1400頁／本体6,000円(税別) ISBN4-7842-1024-5

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。